

医療心理学

(Medical Psychology)

担当教員

非常勤講師 中山 英知

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
人と文化	3年次 前期	講義 ロールプレイ	1.5単位	選択

【概要】

これからの医療人には、疾患（disease）のみでなく患者自身が感じている病気（illness）全体を診る視点が求められ本講義では、病気が患者に及ぼす心理的な影響を理解し、患者やその家族との基本的なコミュニケーションの在り方について理解を深める。基本的に講義形式の授業を予定しているが、受講者の人数によってはグループセッションなどを取り入れながら授業を進める予定である。また、後半の実践部分ではグループセッションやワークを行い、コミュニケーションを体験することによって学習を深めていく。

【授業の一般目標】

患者とのコミュニケーションにおいて、患者の心理面に着目する視点を培うことを目標とする。知識による客観的な理解だけではなく、自らが実際に関わるといふ相互的な関係性の観点から、患者の心理への共感的理解について理解を深め、関わり方を学習する。

【準備学習(予習・復習)】

参考文献を読んでおくとう学習が進みやすい。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	医療心理学とは	酒木	本講義の概要と到達目標について理解する。医療心理の概要と社会的ニーズを理解する。
2	こころとからだ -こころとからだの繋がり-	酒木	こころの在り様とからだの症状の関わりを学ぶ。不安やストレスが身体的機能に与える影響について理解する。
3	こころとからだ -心身症-	酒木	心理社会的要因が深く関わる疾患である心身症について、疾患を抱える患者の心理への理解を深める。
4	こころとからだ -慢性疾患-	酒木	日々の社会的生活において様々な心理的困難を抱える、慢性疾患患者の心理への理解を深める。
5	こころとからだ -身体症状の意味-	酒木	身体症状の心理的意味を考え、疾患中心ではなく全人的な患者理解を学ぶ。
6	こころとからだ -薬とこころ-	酒木	薬に関わる心理的問題について考える。オーバードーズや薬物への依存、プラセボ効果などへ理解を深める。
7	医療コミュニケーション -医療コミュニケーションとは-	酒木	医療コミュニケーションとは何かを学ぶ。現在の医療コミュニケーションについて概要を理解する。
8	医療コミュニケーション -カウンセリングマインド-	酒木	医療コミュニケーションにおいて、必要なカウンセリングマインドについて理解を深める。
9	医療コミュニケーション -QOLとインフォームドコンセント-	酒木	カウンセリングマインドについて、QOLとインフォームドコンセントの概念から理解を深める。
10	医療コミュニケーション -心の病とその対応-	酒木	精神疾患を抱える患者とのコミュニケーションについて理解を深める。
11	コミュニケーションの実践 -患者とのコミュニケーション-	酒木	具体的な事例から患者とのコミュニケーションについて考える。自らが接するとき具体的などのように接するか考えを深める。
12	コミュニケーションの実践 -良好なコミュニケーション形成-	酒木	良好なコミュニケーション形成のために大切な態度を、自らの体験を通して学ぶ。
13	コミュニケーションの実践 -傾聴と共感-	酒木	コミュニケーションにおける傾聴と共感の言語的・非言語的スキルについて学ぶ。
14	コミュニケーションの実践 -特徴的な反応を示す患者-	酒木	特徴的な反応を示す患者に出会った時のコミュニケーションについて考える。不安を緩和させる心のメカニズムを学び、自らがどのように関わるか考えを深める。
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書	必要な資料は講義ごとの配布する。	
参考書	服薬援助のための医療コミュニケーションスキル・アップ 星和書店	
	身体の哲学：精神医学からのアプローチ 講談社	
	スキルアップのための医療コミュニケーション 南山堂	
	その他、講義中に随時紹介する。	

【成績評価方法・基準】

学期末に論述形式のレポート試験を行う。レポート試験の結果と出席状況、講義内で行う小課題の取り組み状況を加味し、評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オリエンテーション時に担当教員から連絡する。